

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例  
(2015年1月)

【相互作用防止】

Q: プロプレス<sup>TM</sup>、アムロジピン<sup>TM</sup>、パリエット<sup>TM</sup>、カロナール<sup>TM</sup>、つくし<sup>TM</sup>AM散、レンドルミン<sup>TM</sup>、ラシックス<sup>TM</sup>、バイアスピリン<sup>TM</sup>、フォイパン<sup>TM</sup>、エクセラゼ<sup>TM</sup>、ニコランジルを服用中。眼科からクラビット<sup>TM</sup>錠が処方されたが、相互作用は？（県民）

A: つくし<sup>TM</sup>AM散との併用によりクラビット<sup>TM</sup>錠の吸収が低下し効果が減弱するので、クラビット<sup>TM</sup>錠の服用1～2時間後につくし<sup>TM</sup>AM散を服用する。  
カロナール<sup>TM</sup>との併用により過度の体温低下を起こすことがあるので、注意する。

Q: ユニシア<sup>TM</sup>配合錠、ピタバスタチン、エビスタ<sup>TM</sup>、エディロール<sup>TM</sup>、アスパラ<sup>TM</sup>Ca 錠を服用中。セフゾン<sup>TM</sup>、ロキソニン<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A: ユニシア<sup>TM</sup>配合錠とロキソニン<sup>TM</sup>で、ユニシア<sup>TM</sup>配合錠の降圧作用減弱、腎機能障害者では腎機能悪化のおそれがあり、併用注意。

Q: アルジオキサ、オルメテック<sup>TM</sup>、レボチロキシシン、デパス<sup>TM</sup>、アリナミン<sup>TM</sup>F、ウルソ<sup>TM</sup>、フェキソフェナジン、メコバラミン<sup>TM</sup>、フェブリク<sup>TM</sup>、ピタバスタチン、アムロジン<sup>TM</sup>、ラベプラゾールNa、ノイトロジン<sup>TM</sup>を服用中。セフゾン<sup>TM</sup>、ロキソニン<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A: アルジオキサとセフゾン<sup>TM</sup>の同時服用はセフゾン<sup>TM</sup>の吸収が低下し効果が減弱するので、2時間以上間隔をあける。  
オルメテック<sup>TM</sup>とロキソニン<sup>TM</sup>は、オルメテック<sup>TM</sup>の降圧作用減弱、腎機能障害者では腎機能悪化のおそれがあり、併用注意。  
ラベプラゾールNaを消化性潰瘍のために服用中であれば、ロキソニン<sup>TM</sup>は禁忌。

Q: カソデックス<sup>TM</sup>、アダラート<sup>TM</sup>L、プロプレス<sup>TM</sup>、重質酸化マグネシウム、タガメット<sup>TM</sup>、ウリトス<sup>TM</sup>、マーズレン<sup>TM</sup>S、クリアナール<sup>TM</sup>、テオロング<sup>TM</sup>を服用中。カロナール<sup>TM</sup>、ルリッド<sup>TM</sup>またはフロモックス<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A: テオロング<sup>TM</sup>とルリッド<sup>TM</sup>で、テオロング<sup>TM</sup>の血中濃度の上昇により中毒症状（吐気、頭痛等）が現れるおそれがあり、併用注意。  
タガメット<sup>TM</sup>を消化性潰瘍のために服用中であれば、カロナール<sup>TM</sup>は禁忌。  
添付文書にて、消化性潰瘍への禁忌がなく、歯痛の適応があるのは、SG<sup>TM</sup>配合顆粒、キョーリンAP2<sup>TM</sup>配合顆粒、立効散。

Q：ラベプラゾールNa、アーチスト<sup>TM</sup>、ラシックス<sup>TM</sup>、アムロジピン、クレストール<sup>TM</sup>、ロサルタンKを服用中。セフゾン<sup>TM</sup>、ロキソニン<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A：ラベプラゾールNaを消化性潰瘍のために服用中であれば、ロキソニン<sup>TM</sup>は禁忌。  
ラシックス<sup>TM</sup>とロキソニン<sup>TM</sup>で、ラシックス<sup>TM</sup>の利尿作用減弱のため、併用注意。  
ロサルタンKとロキソニン<sup>TM</sup>で、ロサルタンKの降圧作用減弱、腎機能障害者では腎機能の悪化のおそれがあり、併用注意。

Q：メチコパール<sup>TM</sup>、メインテート<sup>TM</sup>、フルイトラン<sup>TM</sup>、ミカルディス<sup>TM</sup>、酸化マグネシウムを服用中。ロキソニン<sup>TM</sup>またはカロナール<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A：ロキソニン<sup>TM</sup>とメインテート<sup>TM</sup>、フルイトラン<sup>TM</sup>、ミカルディス<sup>TM</sup>で、降圧・利尿作用の減弱、腎機能障害者では腎機能悪化のおそれがあり、併用注意。  
カロナール<sup>TM</sup>とフルイトラン<sup>TM</sup>で、フルイトラン<sup>TM</sup>の利尿作用減弱のため、併用注意。

Q：アレビアチン<sup>TM</sup>、酸化マグネシウムを服用中。ルリッド<sup>TM</sup>、カロナール<sup>TM</sup>またはロキソニン<sup>TM</sup>またはボルタレン<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A：アレビアチン<sup>TM</sup>の長期連用者は、アセトアミノフェンの代謝物のN-アセチルp-ベンゾキノイミンによる肝障害を生じやすくなるため、カロナール<sup>TM</sup>と併用注意。

Q：アクトス<sup>TM</sup>、リピトール<sup>TM</sup>、アマリール<sup>TM</sup>、メトグルコ<sup>TM</sup>、テネリア<sup>TM</sup>を服用中。フロモックス<sup>TM</sup>とロキソニン<sup>TM</sup>との相互作用は？（歯科医師）

A：アマリール<sup>TM</sup>とロキソニン<sup>TM</sup>で、血糖降下作用増強のおそれがあり、併用注意。血糖値その他患者の状態を十分観察し、必要に応じていずれかの投与量を調節する。

Q：フェジン<sup>TM</sup>を、ネオラミン<sup>TM</sup>・スリービーと混合して良いか？（薬局）

A：フェジン<sup>TM</sup>のpHは9.0~10.0で、pH変化により変化を起こしやすく、pH4.71以下では混濁、結晶析出を起こす。ネオラミン<sup>TM</sup>・スリービーのpHは3.0~5.0で、混合により沈殿を生じるため、混合しない。

#### 【適正使用】

Q：タミフル<sup>TM</sup>とカロナール<sup>TM</sup>を服用。鼻水・のどの痛み等のため、以前もらっていたPL<sup>TM</sup>配合顆粒を一緒に服用して良いか？（県民）

A：以前もらった薬は服用しない。自己判断で薬を服用して起きた副作用には副作用被害救済制度は適用されない。PL<sup>TM</sup>配合顆粒は、カロナール<sup>TM</sup>と同じ成分を含有し、過量服用で肝障害が起こるおそれがあり、併用しない。

#### 【副作用防止】

Q：アクトネル<sup>TM</sup>を粉砕して良いか？（薬局）

A：咽喉頭や食道への刺激作用があるため粉砕不可。